

講義名	国際経営論			授業形態	
担当教員	今西 珠美	開講期・曜日・時間	後期 金曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
			ナンバリング・コード	MAN284	

主題と概要

【主題】
 国境をまたいで活躍する多国籍企業の歴史・主要理論・経営の諸相について総合的に学ぶ。

【概要】
 海外進出を図り複数の国々で事業を展開したり、外国企業と共同で事業を行ったりする企業は増えている。本科目ではこのような企業の国際経営活動に関する基本的知識を修得し、マーケティング、生産、研究開発、人的資源管理などの諸相における主要理論を理解する。将来、国際的な視野に立つて社会に貢献できるような人材になるための能力を身につける。

到達目標

【到達目標】
 一国内で活動する企業と複数の国々で活動する企業の違いを知り、グローバルに事業を展開する多国籍企業の国際経営の複雑性について理解できるようにする。

【到達に向けた具体的目標】
 (1) 国際経営にかかわる主要概念とテクニカル・タームを理解する。
 (2) 国際経営にかかわる主要理論を理解する。
 (3) (1)と(2)について具体例や応用例を考え、説明できるようにする。
 (4) 国際経営論の視点から物事を考えることができるようになる。

提出課題

課題を提示する場合がある。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時や解答例を提示する際に講評する。

評価の基準

学習成果（理解度）と学習意欲・学習態度を評価する。
 出欠はとらず、定期試験および取り組み姿勢、理解度を評価する。
 定期試験（85％）、学習意欲・学習態度（15％）を予定している。

履修にあたっての注意・助言他

教科書は必須である。授業時には手元にあるようにしてほしい。
 本授業では録画、録音、写真撮影を禁じる。

教科書

『はじめの国際経営』	中川功一・林正・多田和美・大木清弘	有斐閣（有斐閣ストア ディア）	1980	9784641150171
------------	-------------------	--------------------	------	---------------

参考図書

なし。

その他

浅川知宏『グローバル経営入門（新装版）』日経BP（日本経済新聞出版本部）、2022年。
 井上真理編『クラシック グローバルビジネス』新世社、2020年。
 江見健一・奥名義晴編『理論とケースで学ぶ国際ビジネス（第4版）』同文館出版、2018年。
 大木清弘『コア・テキスト 国際経営（第2版）』新世社、2025年。
 安室一樹・吉岡文之・山口隆太郎・安室一樹の国際ビジネス入門』白桃書房、2019年。
 吉原英樹『国際経営論への招待』有斐閣（有斐閣ブックス）、2002年。
 吉原英樹『国際経営（第5版）』有斐閣（有斐閣アルマ）、2021年。

授業計画

文字数の制約により第2回～第14回は予習内容と復習内容を簡潔な形で記載している。第1回の予習と復習の事項を参考してください。

- 第1回 国際経営とは何か
 【予習（120分）】
 教科書第1章を読む。 キーワードと気になる語について調べる。
 事例については対象と現象の詳細、図表については近年の状況を調べる。
 よく理解できなかった点や疑問を書き留める。
 【復習（120分）】
 教科書を読み直す。 キーワードをそれぞれ120字程度で記し説明できるようにする。
 キーワード間のつながりや考え、具体例や応用例についても考える。
 予習時に理解できなかった点に重点を置いて学習内容を再確認し、理解不足と疑問を解決する。
- 第2回 海外直接投資の理論
 【予習（120分）】 教科書第2章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第3回 多国籍企業による国際競争の歴史
 【予習（120分）】 教科書第3章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第4回 多国籍企業の組織デザイン
 【予習（120分）】 教科書第4章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第5回 トランスナショナル経営
 【予習（120分）】 教科書第5章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第6回 海外子会社の経営
 【予習（120分）】 教科書第6章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第7回 国際マーケティング
 【予習（120分）】 教科書第7章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第8回 海外展開の事例研究
 【予習（120分）】 教科書第7章を読み直す。 事例対象と取り巻く経営環境のその後について追跡調査を行う。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第9回 ものづくりの国際拠点展開
 【予習（120分）】 教科書第8章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第10回 研究開発の国際化
 【予習（120分）】 教科書第9章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第11回 国際的な人的資源管理
 【予習（120分）】 教科書第10章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第12回 国際経営の事例研究
 【予習（120分）】 教科書第1章～第10章を読み直す。 事例対象と取り巻く経営環境のその後について追跡調査を行う。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第13回 国際パートナーシップ
 【予習（120分）】 教科書第11章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第14回 日本企業のさらなる国際化のために
 【予習（120分）】 教科書第12章を読む。 - は前回と同じ。
 【復習（120分）】 前回の - に同じ。
- 第15回 国際経営論総括
 【予習（120分）】
 教科書全章に目を通し、振り返る。
 キーワードをはじめ専門用語、主要理論の意味・内容を再確認し、実例、適応例を考える。
 【復習（120分）】
 教科書全章を読み直し、全体を学び直す。
 これまでにまとめたキーワードを再確認し、実社会における具体例、適応例を考える。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

当科目を学ぶことによって、事業の仕組みや経営構造、組織行動について経営理論に基づき、自ら考え、理解する能力が身につく。特にグローバルな側面に焦点を当てる科目であることから、国際的な視点に立って、企業や組織がグローバルに事業を展開する上で直面する現状と課題を分析し、その解決策やさらなる発展をもたらすための新たな価値を作り出す想像力と提案力を身につけることができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中に問いかけの形で反応してください。また、授業時はもちろんのこと、ウェブでも質問や意見を受け付け、コミュニケーションを図っていきたいと考えている。

実務経験の有無及び活用

実務経験なし

備考